



地域日本語支援ニュース こだま 第 343 号

2018.7.26



★—メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます—★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

====目次=====

1■ともに生きる：横浜市から■

「やさしい日本語」との長いつきあいを経て
生活情報ネット あ・つ・み
みどり日本語の会 村上直子

2■高校進学進路ガイダンス情報（7、8月）■

3■お知らせ■

「2018 年度 日本語教師のための夏の教え方講習会」のお知らせ

=====

1■ともに生きる：横浜市から■

「こだま」では、本年度「やさしい日本語」をテーマの一つとしてとりあげて参りましたが、今年に入ってなお災害が相次ぐ中、ともに生きる外国人と日本社会をつなぐものとして、その重要性は今後とも高まるばかりかと思われます。今回は、今から約 20 年前に活動を開始、「やさしい日本語」のまさに草分け的な存在とも言える「生活情報ネット あ・つ・み」の村上直子さんに、これまで長きに渡って継続なされた精力的な努力の歩みと「やさしい日本語」をめぐる思いを書いていただきました。

.....

「やさしい日本語」との長いつきあいを経て

生活情報ネット あ・つ・み
みどり日本語の会 村上 直子

◆多言語対応の限界◆

1997年に、横浜市国際交流協会（YOKE）が1年をかけ、「日本語学習者ニーズ調査」を纏めた。この調査の結果から、外国人住民の方達に、行政の暮らしに密着した、必要な情報が届いていないことが分かった。1999年、調査に加わったボランティア有志2名で「グループともだち」を発足。YOKE発行の情報誌「ヨークピア」を見直すことを始めた。21世紀に入り、外国人住民の言語が多様化し、多言語対応に限界が見えていた。「グループともだち」が「やさしい日本語」での情報発信を考え始めた時期であった。

◆「生活情報ネット あ・つ・み」のスタート◆

2001年、YOKEが「やさしい日本語」による「よこはま・横浜」の発刊に際し、「グループともだち」への協力依頼があった。紙面作成の協力をするうちに、もっと、身近な情報を提供したいと、青葉区、都筑区、緑区の日本語ボランティアの有志で「生活情報ネット あ・つ・み」をスタートさせた。

2003年9月から、毎月、「やさしい日本語」版「わたしのまち」を作り、各方面に配布してきた。紙面の作成に当たっては、「分かち書き」、「言い換え」、「ルビ」、「初級文法の範囲で書き、文を短く」を共通認識とした。

メインのテーマは、「命を守る・子育て」に絞った。青葉区、都筑区、緑区の広報相談係の協力を得て、区版広報の最終ゲラを使う道が開けたので、これを主な情報源とした。3区版のゲラの中から、日々の生活に必要と思われる記事を抜き出し、やさしい日本語に直し、編集した。地域住民との接触の場を作り、日本語でも、理解しあえることを実感し、自然に、「やさしい日本語」を使う人達が増えるよう試みた。

◆さまざまな活動を実施◆

地域住民と外国人とが、一緒に考え、行動する場も作った。具体的なテーマとして、『「やさしい日本語」について考えるワークショップ』や『ごみの分け方・出し方』、『救急車の頼み方』、『心肺蘇生法』、『防災訓練参加』、『地域防災拠点への行き方の実施訓練』、『自転車の乗り方』等を行った。

2009年、難民支援協会の依頼で開いた「難民支援日本語教室あおば」（2009

年～2013 年) では、発足時より、ボランティア有志と協力し、教室運営を担った。また、文化庁の要請で、教材も作った。

◆意識の変化◆

『「やさしい日本語」とは』を考えながら 19 年、接触してきた関係機関の意識が変わってきていると感じる。外国人にも、高齢者にも、分かりやすい情報発信を希望している。ボランティアをもっと活用し、公的な部分のみならず、地域との繋がりで、「やさしい日本語」が定着することを願う。

<これまで作成したもの>

(1)「ごみと 資源の カレンダー」(2007)

(2)「子そだて ガイドブック」(2008)

(3)「やさしい日本語版 青葉区版くらしのガイド」

※外国人のための青葉区版くらしのガイド作成に当たり、多言語版の基に
と作成。(版權は、横浜市青葉国際交流ラウンジ)

(4)「やさしい日本語版 ごみと資源物の分け方・出し方-品目別一覧表」(2009)

(5)「救急車の じょうずな よび方」(2009)

(6)「いのちを まもる 医療編・地震編」「語彙集」(2013)

※文化庁の要請による教材作成。(版權は、文化庁。)

(7) 月刊 やさしい日本語版 青葉区・都筑区・緑区広報「わたしのまち」
(2003～2017)
